



第20号

みせん

瀬戸内海国立公園

宮島地区パーク

ボランティアの会

発行日

平成17年 6月1日

◇ 目 次 ◇

P2 平成17年度定期総会

P3 平成16年度活動記録

P4 三地区PV交流会

P5 春の公募植物観察会

P6 極楽寺山観察会・岩船岳登頂

P7 PVトピックス 編集後記

☆☆☆



☆☆☆

「クロキ」

クロキは暖地の沿岸部によく見られる常緑の小高木。春本番が訪れる少し前に白い小さな花を木全体に、たくさん咲かせます。

3月末、海岸植物調査の下見で上陸した須屋浦には、遠目にもよく目立つ立派なクロキが、去年の度重なる台風にも負けず見事に花を咲かせていました。

どんなにか風にちぎられ、どんなにか潮水をかぶっただろうに。自然は逞しいものです。

「写真・文」 山根 浩二

会旗のデザインを募集

PVの会では、観察会など屋外活動のときパークボランティアをアピールするための旗を作ることになりました。その為、旗のデザインを会員から募集しますので、出来るだけ多くの人の応募を期待しています。

作品応募締め切り 8月末

提出先 広報部会長又は自然保護官
採用作品には記念品を進呈します。

PVの会平成17年度総会 活動計画決まる

PVの会では4月9日(土)宮島町役場会議室に於いて平成17年度定期総会を開催しました。出席会員34名(会員総数47名)委任状提出者8名でした。

(出席者) 池下 井上 小方ペア 小川 佐渡 佐藤 柴田 島 末原 田村 坪井 中道
中本 西 花見堂 東丸 平田 平山 古川 前田(勲)前田(正)舛田 松尾 丸平
宮崎 村上 森 柳瀬 矢吹 横山 横路 吉田 六重部 (環境省)高木自然保護官

当日は10:30分までに集合、総会の前に去る2月14日に急逝された、会員故本田隆徳さんのご冥福を祈り全員が黙祷しました。

村上会長、高木自然保護官のあいさつの後出席者数、委任状提出者数の確認を行い、総会が成立しましたので幹事会で原案を作成した次の4議案につき個々に報告、審議がなされ、いずれも特に異議無く承認(総会決議)されました。

ア、平成16年度活動状況について(報告)
イ、" 決算(案) "
ウ、平成17年度活動計画(案)について
エ、" 予算(案) について(審議)

午前中に総会を終了し午後からは恒例により環境整備部会主催の「小なきり浜」清掃、歩道整備を行いました。

～がんばる中高年～

宮島栈橋から歩いて8分の「小なきり」の海岸は、当会が年一回続けている清掃活動によって瀬戸内(せとうち)独特の砂浜海岸が復活し、波打ち際にはハマゴウが見事に生い茂っている。

今年も総会后、約30名の会員が一年ぶりに訪ねたところ、台風の襲来で発泡スチロールや流木、缶、ビン等が打ち上げられ、ハンゲショウやハマゴウなど貴重な植物が埋もれてしまっていた。(以下P3下段に続く)

定期総会出席者



平成 16 年度 PV 活動記録

平成 16 年 4 月～17 年 3 月

	開催日	行 事	参加人数	備 考
総会 等	4/17 日 (土)	平成 16 年度定期総会	4 1	
	11/27 日 (土)	臨時総会・部会打ち合わせ	3 0	
	2/26~27 (土、日)	三地区 PV 交流会	9	岡山県倉敷市
JPR 支援	7/10~11 (土、日)	第 1 回包ヶ浦自然公園	5	
	8/28~29 (土、日)	第 2 回大久野島	3	
	10/16/17 (土、日)	第 3 回安芸大田町	1	
観察 部会 関 係	5/29 (土)	自主観察会 (海岸植物調査)	2 1	日本自然保護協会
	6/20 (日)	「大野自然観察の森」観察会	1 7	
	10/17 (日)	公募観察会 (歴史、文化)	1 1	一般参加 28 名
	11/23 (祝)	〃 (植物)	1 6	一般参加 35 名
	12/4 (土)	自主観察会 (奥の院)	7	
	3/27 (日)	〃 (極楽寺山)	1 6	
環境 整備 部会 関 係	4/17 (土)	小なきり浜清掃	3 6	総会後に実施
	5/15 (土)	鷹ノ巣砲台跡清掃、整備	1 7	
	7/17 (土)	樹木名板パトロール	2 4	うぐいす道他
	9/20 (祝)	台風 18 号の後始末 (大元公園他)	3 5	海岸調査を変更
	9/23 (祝)	〃 (登山道他)	1 7	野鳥観察会を変更
	10/2 (土)	〃 (包ヶ浦公園他)	1 9	
	12/18 (土)	弥山登山道補修	1 8	転落町石を引き上げ
	3/5 (土)	岩船岳登頂、コバンモチ点検	2 1	広大実験所で受講
その 他	11/27 (土)	研修会 (米田先生・クマの話)	3 0	臨時総会後
	※ 5/9 (日) 公募植物観察会 (スカイ歩道) 8/1 (日) 自然公園クリーンデイ 両日とも悪天候のため中止			

(P2 から続き)

会員は植物の生育を妨げている流木を引き起こしたり、かき養殖の用材などを袋に詰めるなど、汗水垂らしながら、指定場所に集めました。

また道路から海岸に下る道が雨水などで削られ、まともに歩けるような状態ではなかったもので、有志数名が流木を適当な長さに切断し、杭を打ち込むなどして我ながら自慢できる手製の階段が完成しました。

作業終了後「道具が揃っていればもっと良いものが出来るのだが・・・」という威勢のよい会話が聞こえていました。

(中道 記)



廃材利用による手製階段

「みせん」次号発行予定

発行日 9 月 1 日

原稿締切 7 月末日

良寛の里（倉敷）～鷺羽山

瀬戸内海 三地区PV交流会

瀬戸内海国立公園で活動する中四国パークボランティアの会（岡山・鷺羽山、香川・五色台・広島・宮島）の合同交流、研修会が2月26～27日の2日間、倉敷市玉島の国民宿舎「良寛荘」で開催されました。宮島からは9名参加し、他地区のPVと交流を深め、非常に有意義な2日間だったと思いますので、概要を紹介します。（横路 記）

（出席者）

山陽四国地区自然保護事務所
秀田次長、門田指導官、山口専門官
岡山・香山、高松・久保田、広島・高木
各自然保護官

（PV）鷺羽山18名、五色台2名、宮島9名
定刻13時に開会、自然保護事務所 秀田次長の挨拶、地元鷺羽山 PV 武田会長の歓迎挨拶で始まりました。

研修会は岡山理科大・波田教授の「瀬戸内海の自然」～鷺羽山から見たインタープリテーション～の講話があり、瀬戸内海島嶼部の地形・地質からみた生物、植生の話では、花崗岩質のみと思っていた瀬戸内の島々の意外な地質と特徴を持った多様な自然。また湿地保全から、古来より農業用水を確保してきた里山保全のあり方を示唆するものであると興味深く聞くことができました。

その後各地区 PV の交流会となり

- ・ 鷺羽山 PV は鷺羽山地区の火災発生後の修復対策、緑化と外来植物の問題
- ・ 五色台 PV は一般ビジターの現地までの交通アクセスの問題
- ・ 宮島 PV は樹木名板の取り付け方に対する理解を得る方法

などお互い悩みを持ちながらも、今までの活動をパンフレットや冊子にまとめて発行するなど活発に活動が続けている状況が紹介されました。

2日目は鷺羽山 PV の案内で水島・児島地区の瀬戸内海国立公園の現状を見て回りました。鷺羽山では瀬戸大橋を目の前にするビジターセンターで山崎さんから公園の歴史的背景と架橋前後の様子、海辺や山頂付近での自然観察会について説明を受けました。

王子岳（児島地区）では観光地化の開発中断とその過程での湿地保全運動などの説明がありました。

足元から広がる瀬戸内海の多島美の景観。景観展望を良くする為や歩き易くする歩道整備と希少植物の保存。観光地におけるボランティア活動の難しさを語り合いながらの交流となりました。自然に目を向けて貰うための活動をもっと続けねばならないと感じました。

今回の交流会の開催準備に大変ご尽力された鷺羽山 PV の皆さん有難うございました。

宮島地区出席 PV

後列 中道 横山 池田 末原 横路
前列 村上 西 足立 松尾



宮島の春をさがそう！公募観察会に66人

4月24日（日）今年度第1回の一般公募観察会が行われました。澄み切った青い空、朝は多少冷え込んでいましたが、日中は絶好の観察日和になりました。

参加者は当初の募集定員を大きく上回り、66名、今までの最高となりスタッフ19名もいささか緊張気味、集合場所の詰所前はまるで遠足の雰囲気でした。（ 舩田 記 ）

9時30分、前田観察部会長、高木自然保護官の挨拶のあと、一斉にストレッチ体操を行い6グループに分かれ出発。

この日の宮島は春の陽気に誘われ、一般の観光客だけでなく、リュックを背負った山登り客も多い。人馴れしたシカたちの鼻に挨拶をしながら足早に参道を通り抜ける。

「岩惣」の横から観察が始まり「ヒメヤマツツジ」「アセビ」「イロハモミジ」・・・ゆっくりとした歩みでグループ毎に樹木の前で説明を受け、よく見て、触れて、香りを嗅ぎ、時には恵みを味わう。ウグイスやシジュウカラの鳴き声に混じって、各グループからの質問や笑い声が聞こえてくる。熱心な観察は予定時間をオーバー気味だ。



中道さんの厳島合戦の話

11時20分、やっと博打尾に到着、配られた「もみじ饅頭」がうれしい。眼下に見える朱の大鳥居、きらきら光る水面、谷から吹いてくる心地よい風、青い空には1本の飛行機雲、うっすらとかいた汗がひく。

ここでは軽妙な語り口の中道さんによる「厳島合戦」の話、450年前にタイムスリップして毛利元就や陶晴賢を想う。

ゆうゆうと空を舞う「ミサゴ(ワシタカ科)」を見ながら包ヶ浦へ出発。「ザイフリボク」「ア

オダモ」「サルトリイバラ」「クロバイ」・・・資料に出ている樹木を少し足早に観察する。

13時、包ヶ浦キャンプ場に到着。小さな葉を展開した「ケヤキ」は今は満開、その木陰で、お弁当の花が咲く・・・周りに植えられた「ソメイヨシノ」の花びらが舞いきれい。

食後、小川さんと野呂田さんによる紙芝居「シカを救うのはわたしたち」宮島のシカの現状と問題から、今後の共存方法を考える。続いて小方さんの「ハイノキ」について楽しい講義、盛りだくさんの内容だ。



小川、野呂田さんのシカの話

今回の観察メインであった「クロバイ」の満開はもう少し先だったが、全員トラブルもなく予定コースを回り、15時、包ヶ浦管理センター前で解散となった。

小学2年生から昔若かった人たちまで、みんな観察を楽しんで貰えただろうか？宮島の自然を好きになっただろうか？解散時の皆さんの笑顔に、その答えはあったように思いました。

参加者	高木自然保護官	足立	池下
	井上	岩崎	小方(嗣)
	新川	末原	中道
	舩田	丸平	村上
			山根
			横路
			六重部

極楽寺山での観察会

日時 3月27日(日) 10~15時

参加者 高木自然保護官

足立 岩崎 小方ペア 小川 佐藤

末原 坪井 中道 野呂田 平山 前田

(勲) 矢吹 山根 横路 六重部

平成 16 年度最後の観察会は瀬戸内海国立公園に入っている、廿日市市の極楽寺山です。ここは弥山の真北 13km に位置する、標高 690m の山で、地質は共に花崗岩ですが、宮島のような岩峰がなく、大きな谷もない。また植生を比較すると弥山とは大きく異なり、種数も少ないとされています。

最初に杉や檜の植林地を下り「巢丸の滝」へ向かい、かつて極楽寺の僧侶が「凍み豆腐」を作っていた所を通りました。滝は落差 10m 位ですが、豊かな水が流れ落ちています。



「巢丸の滝」

次は極楽寺第 2 駐車場へ向かって、急坂を進みます、左手は檜や杉の植林地、右手はかつてのアカマツ林でしょうか、樹皮の捲れと長い葉柄のアカガシの大木が目立つ全く対照的な植生です。台風による倒木もあちこちにあります。第 2 駐車場からは「仁王門」へと向かいます、今度はモミの大木の目立つ林です。あいにく雨が降り出し昼前に展望台に到着、昼食休憩となりました。

ここは天気良ければ絶景の眺望ポイントですが、雨のため遠くは霞んでいました。

午後は極楽寺本堂、奥の院を経て蛇の池へ、遊歩道沿いはアカマツ林でシロモジが特に目

立ちます。宮島のアカマツ林ではシロモジはなく、クロモジが多いのが大きな違いです。14 時小雨の降り続く中、集合場所に戻り解散となりました。(六重部 記)



「蛇の池」前での参加者

岩船岳登頂～大川浦～広大で学習

日時 3月5日(土) 8時 棧橋前集合

参加者 高木自然保護官

足立 池田 井上 小方(嗣) 小川

佐藤 柴田 島 末原 坪井 中本

野呂田 花見堂 平山 古川 前田(勲)

前田(正) 柳瀬 矢吹 横路 六重部

岩船岳に登りたいと長い間思い続けていたので喜び勇んで参加。奥の院辺りまでタクシー利用で約 1 時間短縮、こんな手があったのだと納得。1 時間ばかり登って陶晴賢が自刃したという安ヶ原。陰惨、気味が悪い広場。

安ヶ原を過ぎた頃より時々猛吹雪、その後は太陽が顔を出すという異様な天気。

12 時前に巨石ゴロゴロの頂上に到着。眼下の素晴らしい景色に感動していたら、又々猛吹雪、こごえながら昼食を済ませ早々に下山。大川浦別れまで下り、十字路を西にとり約 1 時間で大川浦へ、2 年前作業したコバンモチ保護網の点検をしながら、広大実験所を訪問。そこでは向井技官から宮島の植生についてスライドによる説明を受けました。

棧橋に到着したのは 5 時過ぎで、かなり疲れましたが、非常に楽しい充実した一日でした。また企画して下さい。

(佐藤 記)

PVトピックス

◇海岸植物調査（平成 17 年度）

（第 1 回） 5/5（祭）

青海苔浦、樫ノ木浦、多々良潟、上室浜、
下室浜、長浦、江ノ尻浦

（参加者）池下 井上 小方（嗣）小川
佐藤 新川 末原 高光 中道 野呂田
平田 前田（勲）舛田 村上 柳瀬
山根 横路 六重部 （18 名）

（第 2 回） 5/8（日）須屋浦、大江浦、大川浦

（参加者）高木自然保護官 池下 井上
岩崎 小方ペア 佐藤 新川 末原
高光 坪井 前田（勲）舛田 村上
矢吹 山根 横路 六重部 （18 名）

◇鷹ノ巣砲台跡整備・清掃

日時 5/21（土）9:00 宮島栈橋前集合

（参加者）高木自然保護官

足立 井上 佐藤 島 末原 高光
坪井 中道 中本 名越 平田 平山
古川 前田（勲）前田（正）丸平 森
柳瀬 矢吹 横路 六重部

3 年前の平成 14 年 2 月に第 1 回の清掃、
整備を始めて今回が 5 回目になり、砲台礎石
周り、頂上監視所跡、連絡階段路の 3 箇所に

分れて作業をすすめましたが、会員の皆さん
も回を重ねる毎に作業要領もよくなり、午前
中に予定していた殆どの作業を終え、一帯
が見違えるほど綺麗になりました。

今回も砲台分岐入り口まではタクシーそ
他の車を利用、帰りは鷹ノ巣から入浜へ下り
るルートを探訪しました。



砲台通路周りの整備作業

◇ 編集 後 記 ◇

▼ 今年も鷹ノ巣高砲台跡の整備、清掃を
行い、十分に一般の観光客が入れる状態に
までなったと思われる。特に頂上の監視所
跡からの広島湾、能美島方面の眺望は圧巻
で包ヶ浦からの格好のハイキングコースに
もなり得る。対岸沖美町の砲台山のように
トイレや案内板を設置し、ルート整備がさ
れると宮島の新しい観光ポイントとなるの
だが・・・ （ 足 立 ）

◇ 観察会行事予定 ◇

○ 岩国城山の観察会

日時 6 月 17 日（金）10:00~15:00

集合 ロープウェイ山麓駅 10:00

講師 新川会員

※ コバンモチなど暖帯性樹木が見られ
ます。小雨決行 問い合わせは前田（勲）

○ 夏の植物観察会

日時 7 月 24 日（日）9:00~15:00

ルート 鷹ノ巣高砲台入り口～高砲台跡
～入浜～包ヶ浦～栈橋

集合 9:00 詰所 小雨決行

※ ヤマモガシの花が見られます。

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局

広島自然保護官事務所

（〒730-0012）

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 2 号館 6 階

TEL(082)223-7450・FAX(082)223-7451